

サステイナブル活動部門

「横浜市下水道BCP」を通じた危機管理体制の強化
～地震・津波災害に対する職員の全庁的な取組みを始めました～

横浜市

- 全庁を挙げた取組み
- 訓練・研修を通じた
 不断の点検・見直し
- ➔ 危機管理体制のレベルアップ



東日本大震災では延べ約300人の本市職員が支援活動に従事



全庁的に共有



下水道BCP策定に向けた全庁的な研修



4. 点検に基づく下水道BCPの修正 (Act)

- ⑪維持改善計画に基づく点検結果（処置・改善）より各計画の修正

3. 維持改善計画に基づく点検 (check) (点検・評価)

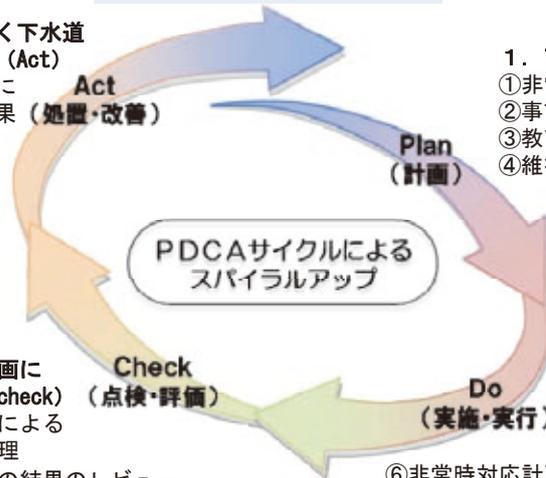
- ⑧維持改善計画による施策の進捗管理
- ⑨訓練・研修等の結果のレビュー
- ⑩維持改善計画による下水道BCPの定期的な点検

1. 下水道BCPの策定 (Plan)

- ①非常時対応計画
- ②事前対策計画
- ③教育訓練計画
- ④維持改善計画

2. 各計画に基づく施策、訓練・研修 (Do)

- ⑤事前対策計画に基づく耐震化等のハード対策、体制構築等のソフト対策
- ⑥非常時対応計画に基づく防災訓練、災害対応訓練（ロールプレイング形式）
- ⑦教育訓練計画に基づく下水道BCP研修



「下水道BCP」は、地震や津波による災害の影響によって下水道機能（業務レベル）が低下した場合であっても、下水道の業務を実施・継続するとともに、被災した機能を早期に復旧させることを目的とした計画です。

※BCP (Business Continuity Plan) : 業務継続計画



BCPを取入れた訓練

東日本大震災において、特に沿岸域に位置する下水処理施設、ポンプ場では機械・電気設備が壊滅的な被害を受け、多くの施設で機能停止に陥りました。本市からも延べ約300人の下水道関連職員が、下水管調査等の支援活動を行い被災地での厳しい現実を目の当たりにしました。その教訓から、ヒト・モノ・情報・ライフライン等といった業務資源が制約される中、職員が被災時の対応を適切に行い、下水道事業を継続し、早期に機能を復旧出来るよう「横浜市下水道BCP」を策定いたしました。今年度はこの下水道BCPの職員定着を図るための訓練等に着手するとともに、継続的に下水道BCPの点検、改善を図ることとしています。